

会員交流広場

～皆様からのメッセージの一部を紹介～

今年度の会員交流会(7月15日(金)開催)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ「とやまファン倶楽部会員交流コーナー」(<https://www.t-hito.or.jp/zaidan/jinzai/fan/05x.html>)に掲載させていただいております。

最近、コンパクトシティーのモデルとして富山の仕事や生活が紹介されることが増えてきました。

京都でもバスの停留所は今や富山並み、フランス風ではありますが、それなりに定着してきました。益々のご展開を期待しています。

先日、横浜で開催された自動車技術の展示会で、不二越やタカギセイコーといった富山県関係の企業が出展されていて、大変心強く感じました。

今後も、富山から全国に、そして世界に羽ばたいていくことを期待します。

日本海側の日本のハブ港を開発して、東アジアの玄関とし、物流・文化の発信地になる事を期待します。

富山県立大の仕事のお手伝いをしています。非常に優れた大学に発展しています。日本全体さらには世界に向けて人材育成の強化を期待しています。

今春、立山黒部アルペンルートを観光しました。改めて、このルートが国際的にも優れた一級の観光地であることを確認しました。環境保護しつつ、もっと外国人客を誘致する方策が望まれます。

また、高岡を軸として、能登と五箇山合掌造り集落を連結するルート開発も望まれます。

映画「大コメ騒動」では、製作から公開まで、富山県の皆さまに大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

今後も「映画県とやま」のご発展を祈念しております。

「越中おわらを楽しむ会」についてはホームページのご案内しております。私も会員で、男踊りのメンバーの一人です。

先日5/31に東京富山県人会連合会の「懇親のつどい」がホテルニューオータニで開催されましたが、その際に、我々の会も踊らせて頂きました。

現在の会員も高齢化してきておりますので、会員を全体にもっと増やしたいと思っております。(地方、唄、踊り全て!!)

【連絡先】046-836-1887:福野(幹事)

大学から関西に来て大阪で就職して30余年。以前はJR大阪駅発サンダーバード(昔は雷鳥)富山行があり、大阪に居ながら電車に乗れば、富山に帰省できる!であったが、北陸新幹線開通後、金沢(和倉温泉)止まり...新幹線に乗り換えれば済むものの、近くて遠い場所を感じております。実際、他の関西人の方から「関西の奥座敷、北陸とやま」のイメージが最近薄れてきているという声も聞きます。

ぜひ、大阪を含めた関西圏での富山PRを積極的に図っていただきたく!

2年以上にわたるコロナ禍で、“ウイズコロナ”、“アフターコロナ”などの概念や言葉のもと、テレワークやテレワークとリアル勤務のバランスを考えたハイブリットワークなど、人々の働き方や生活スタイルの変化が出てきた中、新幹線で東京から約2時間の富山県は、北陸の産業拠点、経済拠点でもあり、若い世代、子育て世代の移住先として魅力的な場所であることを、ぜひ積極的にアピールして欲しい。単なる観光地ではなく、“職と住”の日本の新時代を象徴する県になれると思うので期待しています。

(公財)日本科学協会では、2013年度より科学自由研究に興味を持った高校生(中学生も状況によって対象)を大学や研究所の専門研究者にマン・ツー・マン指導(ボランティア)していただく「サイエンスメンター・プログラム」を実施しています。

指導は研究成果を高めるのではなく、科学研究の進め方の基本を教えることで、メールなどのオンラインが基本ですが必要に応じて対面指導も行います。

応募は随時可能で、書類とオンライン面談審査で採択を決めます。研究の内容が固まっていない場合には研究相談も受け付けます。

身近に該当しそうな生徒がおられたら、是非、チャレンジするように勧めてください。プログラムの詳細や過去の実績、メンターを引き受けていただいた方々などのリストなどは次のURLアドレスを参照してください。

<https://www.jss.or.jp/fukyu/mentor/>

「とやまファン倶楽部」メーリングリストのご案内

「とやまファン倶楽部」会員への情報提供や会員同士のコミュニケーションの活性化を図るため、Google グループを利用したメーリングリストを作成しています。グループの共有メールアドレスにメッセージを送信することで、各会員からもグループメンバーあてに情報を送信できます。

会員の皆様幅広くお知らせしたい情報の共有や、双方向のコミュニケーションに、ぜひ、ご活用ください!

※このメーリングリストは、登録したメンバーのみ、閲覧、返信、投稿が可能です。

参加されたい方は、事務局(☎076-444-2000、E-mail:m.sakai@t-hito.or.jp)まで、ご連絡ください。